



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 川田テクノロジー株式会社 上場取引所 東
コード番号 3443 URL <https://www.kawada.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川田 忠裕
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 渡邊 敏 TEL 03-3915-7722
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	26,272	△4.6	1,243	15.2	2,717	55.6	2,260	40.5
2026年3月期第1四半期	27,551	△16.1	1,080	△56.5	1,746	△38.6	1,609	△21.4

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 2,315百万円 (61.9%) 2026年3月期第1四半期 1,430百万円 (△38.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	43.76	—
2026年3月期第1四半期	30.86	—

(注) 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	154,705	98,824	63.5
2026年3月期	162,986	99,510	60.7

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 98,265百万円 2026年3月期 98,955百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	65.00	—	86.00	151.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	21.00	—	21.00	42.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。2026年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しています。

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	8.7	7,200	△16.3	9,500	△14.1	7,100	△19.2	138.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	52,422,630株	2026年3月期	52,422,630株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	1,144,672株	2026年3月期	104,463株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	51,657,614株	2026年3月期1Q	52,152,969株

(注) 当社は、2026年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っています。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しています。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
3. 補足情報	11
受注、販売及び繰越高の状況	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高26,272百万円（前年同四半期比4.6%減）、営業利益1,243百万円（同15.2%増）、経常利益2,717百万円（同55.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,260百万円（同40.5%増）となりました。受注高につきましては、26,918百万円（同25.2%増）となりました。

なお、セグメントの業績は、次のとおりであります。（セグメントの業績については、セグメント間の内部売上高等を含めて記載しています。）

（鉄構セグメント）

鉄構セグメントのなかの鋼製橋梁事業につきましては、低調な発注状況から同業者間の競争が一層激しさを増すなか、厳しい受注環境が続いています。売上高は、前期からの高い繰越高を背景に前年同四半期を上回りました。営業利益は、過年度から稼働していた大型工事についてプロジェクト全体の見込原価の見積りに目途が立ったことや設計変更の獲得などから、前年同四半期を大きく上回りました。

鉄骨事業につきましては、受注高は、首都圏の大型物件や大阪IR関連物件の受注を積み上げ前年同四半期を上回りました。売上高は、手持ち工事が順調に進捗し前年同四半期とほぼ同水準で推移しましたが、営業利益は、前年同四半期に大きな追加契約を獲得していたため、比較で前年同四半期を下回る結果となりました。

セグメント全体では、売上高12,647百万円（前年同四半期比3.1%増）、営業利益2,401百万円（同113.1%増）となりました。また、受注高は11,288百万円（同23.9%増）となりました。

（土木セグメント）

土木セグメントにつきましては、受注高は、低調な発注状況に加え、既に発注されている工事での随意契約案件も多く、新たに入札機会のある案件が非常に少ないことから、前年同四半期を下回る2,513百万円（前年同四半期比62.5%減）となりました。売上高は、前期からの豊富な繰越高を抱えているものの、工期の長い工事が多く、当第1四半期に寄与するものが少なかったことで、5,935百万円（同26.4%減）となりました。営業損益は、売上高の減少に加え、一部大型プロジェクトで原価が先行していることや前年同四半期に計上していたような大きな設計変更の獲得がなかったことなどから、営業損失1,269百万円（前年同四半期は営業利益25百万円）となりました。

（建築セグメント）

建築セグメントにつきましては、受注高は、前期において先行して設計業務を受注していた大型物件で継続して施工業務を受注したことから、前年同四半期を大きく上回る8,290百万円（前年同四半期比586.1%増）となりました。売上高は、順調に工事は竣工したものの4,197百万円（同2.4%減）となりました。営業利益は、特に竣工間際の物件において原価改善が図れたことにより、414百万円（同20.1%増）となりました。

（ソリューションセグメント）

ソリューションセグメントにつきましては、ソフトウェア関連事業において、橋梁の新規発注が低調で受託設計事業は苦戦しているものの、自社製品3次元CADシステムやクラウド型の情報共有サービスは堅調に成長を継続しており、またコンサルティング事業で防衛省案件を受注することができました。この案件は、日本全国に存在する防衛施設の現状や維持管理・更新に関する情報を統一的に運用するとともに、システム内の情報連携の自動化及び情報へのアクセス性を高めるためのシステム構築であり、これは当事業の更なる成長に繋がるものと考えています。また、ロボット関連事業においては販売代理店を通じた販売が好調でありました。これらを受けて、受注高2,553百万円（前年同四半期比18.0%増）、売上高1,892百万円（同8.2%増）、営業利益は709百万円（同12.2%増）となりました。

（その他）

その他につきましては、航空機使用事業におけるコンピューター事業やドクターヘリ事業が好調であったことなどから、売上高は2,008百万円（前年同四半期比3.5%増）となりました。売上高増加を受け営業損失額が減少し、営業損失は167百万円（前年同四半期は営業損失252百万円）となりました。なお、定期路線事業に係る損失は、営業外収益に計上する「補助金収入」により相当部分が解消しています。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における「資産の部」は154,705百万円となり、前連結会計年度末に比べ8,281百万円(△5.1%)減少しました。これは主に、現金預金が10,227百万円増加したものの、受取手形・完成工事未収入金等が18,865百万円減少したことによるものであります。

また、「負債の部」は55,881百万円となり、前連結会計年度末に比べ7,594百万円(△12.0%)減少しました。これは主に、支払手形・工事未払金等が1,537百万円、短期借入金が1,500百万円、未成工事受入金が1,306百万円、流動負債のその他(未払消費税等)が2,142百万円それぞれ減少したことによるものであります。

一方、「純資産の部」は98,824百万円となり、前連結会計年度末に比べ686百万円(△0.7%)減少しました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が761百万円増加したものの、自己株式の買付により自己株式が1,500百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の60.7%から63.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点で合理的に把握出来るものを反映した結果、通期業績予想につきましては、2026年5月12日公表の連結業績予想の内容と変更ございません。なお、今後何らかの変化が認識された場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	17,563	27,790
受取手形・完成工事未収入金等	57,333	38,467
電子記録債権	2,667	2,263
未成工事支出金	81	178
その他の棚卸資産	1,309	1,364
その他	3,529	2,899
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	82,479	72,959
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物（純額）	5,868	5,767
機械、運搬具及び工具器具備品（純額）	3,173	3,357
航空機（純額）	1,570	1,578
土地	14,305	14,305
リース資産（純額）	1,861	1,775
建設仮勘定	19	12
有形固定資産合計	26,797	26,797
無形固定資産	1,275	1,344
投資その他の資産		
投資有価証券	4,395	4,319
関係会社株式	42,696	44,176
退職給付に係る資産	351	370
繰延税金資産	2,980	2,701
その他	2,024	2,050
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	52,434	53,603
固定資産合計	80,507	81,745
資産合計	162,986	154,705

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	12,916	11,379
電子記録債務	2,033	991
短期借入金	1,500	-
1年内返済予定の長期借入金	4,379	4,133
1年内償還予定の社債	1,055	1,055
リース債務	447	433
未払法人税等	638	208
未成工事受入金	9,357	8,051
前受収益	2,678	2,830
賞与引当金	2,263	1,144
完成工事補償引当金	29	30
工事損失引当金	3,805	3,514
その他	7,403	8,090
流動負債合計	48,509	41,862
固定負債		
社債	1,640	1,580
長期借入金	8,883	8,083
リース債務	1,635	1,555
再評価に係る繰延税金負債	1,514	1,514
役員退職慰労引当金	699	675
退職給付に係る負債	428	451
資産除去債務	130	130
負ののれん	15	10
その他	19	16
固定負債合計	14,966	14,018
負債合計	63,475	55,881
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,374	5,374
資本剰余金	10,032	10,032
利益剰余金	75,579	76,340
自己株式	△67	△1,568
株主資本合計	90,919	90,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,304	3,363
土地再評価差額金	920	920
為替換算調整勘定	2,203	2,203
退職給付に係る調整累計額	1,607	1,597
その他の包括利益累計額合計	8,036	8,085
非支配株主持分	555	558
純資産合計	99,510	98,824
負債純資産合計	162,986	154,705

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	27,551	26,272
売上原価	23,392	21,782
売上総利益	4,158	4,490
販売費及び一般管理費	3,078	3,246
営業利益	1,080	1,243
営業外収益		
受取利息及び配当金	43	43
受取賃貸料	41	42
負ののれん償却額	5	5
持分法による投資利益	412	1,341
補助金収入	325	332
その他	83	36
営業外収益合計	911	1,802
営業外費用		
支払利息	80	68
賃貸費用	134	135
その他	30	125
営業外費用合計	245	328
経常利益	1,746	2,717
特別利益		
投資有価証券売却益	375	-
特別利益合計	375	-
税金等調整前四半期純利益	2,122	2,717
法人税、住民税及び事業税	208	126
法人税等調整額	320	323
法人税等合計	529	450
四半期純利益	1,592	2,266
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△17	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,609	2,260

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	1,592	2,266
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90	△49
退職給付に係る調整額	△15	△39
持分法適用会社に対する持分相当額	△56	138
その他の包括利益合計	△161	49
四半期包括利益	1,430	2,315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,447	2,309
非支配株主に係る四半期包括利益	△17	5

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	ソリューション	計		
売上高							
一時点で移転される財	41	2	24	140	208	956	1,164
一定の期間にわたり移転される財	11,623	7,976	4,272	1,575	25,447	898	26,345
顧客との契約から生じる収益	11,664	7,978	4,296	1,715	25,655	1,854	27,509
その他の収益	7	4	—	—	11	29	41
外部顧客への売上高	11,671	7,983	4,296	1,715	25,667	1,884	27,551
セグメント間の内部売上高又は振替高	597	77	3	33	711	55	767
計	12,268	8,060	4,299	1,749	26,378	1,939	28,318
セグメント利益又は損失(△)	1,126	25	345	631	2,129	△252	1,876

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、航空、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,129
「その他」の区分の損失(△)	△252
セグメント間取引消去	△105
全社費用(注)	△853
その他の調整額	162
四半期連結損益計算書の営業利益	1,080

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	鉄構	土木	建築	ソリューション	計		
売上高							
一時点で移転される財	50	5	8	217	281	920	1,201
一定の期間にわたり移転される財	12,373	5,835	4,178	1,646	24,034	986	25,020
顧客との契約から生じる収益	12,424	5,841	4,186	1,864	24,315	1,906	26,222
その他の収益	7	8	-	-	15	34	50
外部顧客への売上高	12,431	5,849	4,186	1,864	24,331	1,941	26,272
セグメント間の内部売上高又は振替高	215	85	11	28	341	67	408
計	12,647	5,935	4,197	1,892	24,672	2,008	26,680
セグメント利益又は損失(△)	2,401	△1,269	414	709	2,255	△167	2,088

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、航空、不動産売買・賃貸に関する事業等を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,255
「その他」の区分の損失(△)	△167
セグメント間取引消去	△82
全社費用(注)	△893
その他の調整額	130
四半期連結損益計算書の営業利益	1,243

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	722百万円	788百万円
負ののれんの償却額	△4 "	△4 "

3. 補足情報

受注、販売及び繰越高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	9,108	42.4	11,288	41.9	2,179	23.9
土木	6,708	31.2	2,513	9.3	△4,194	△62.5
建築	1,208	5.6	8,290	30.8	7,081	586.1
ソリューション	2,164	10.1	2,553	9.5	388	18.0
その他	2,311	10.7	2,272	8.5	△39	△1.7
合計	21,502	100.0	26,918	100.0	5,415	25.2

(2) 販売高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	12,268	43.3	12,647	47.4	378	3.1
土木	8,060	28.5	5,935	22.3	△2,125	△26.4
建築	4,299	15.2	4,197	15.7	△102	△2.4
ソリューション	1,749	6.2	1,892	7.1	143	8.2
その他	1,939	6.8	2,008	7.5	68	3.5
合計	28,318	100.0	26,680	100.0	△1,637	△5.8

(3) 次期繰越高

(単位：百万円、%)

セグメントの名称	前第1四半期 連結会計期間末 (2025年6月30日)		当第1四半期 連結会計期間末 (2026年6月30日)		増 減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
鉄構	92,212	57.3	103,435	57.9	11,222	12.2
土木	49,348	30.6	48,643	27.2	△704	△1.4
建築	14,696	9.1	21,219	11.9	6,522	44.4
ソリューション	4,018	2.5	4,587	2.6	569	14.2
その他	825	0.5	657	0.4	△167	△20.3
合計	161,101	100.0	178,544	100.0	17,443	10.8

(注) セグメント間の取引については、相殺消去していません。